

Odds Park Club

vol.50

2018.7~9



岩手競馬特集

ジョッキーインタビュー
高松亮 騎手

Graded Dirt Races

- | | |
|-----------------------------|-----------------------------|
| 7/ 5 スパーキングレディーカップ JpnⅢ(川崎) | 8/15 クラスタースタート JpnⅢ(盛岡) |
| 7/11 ジャパンダートダービー JpnI(大井) | 8/16 ブリーダーズゴールドカップ JpnⅢ(門別) |
| 7/16 マーキュリーカップ JpnⅢ(盛岡) | 9/24 オーバルスプリント JpnⅢ(浦和) |
| 8/14 サマーチャンピオン JpnⅢ(佐賀) | |

歴史の ひとコマ 盛岡競馬場

旧盛岡競馬場

作家・山口瞳氏の名著に『草競馬流浪記』（昭和59年発行）がある。全国の地方競馬場を訪ねたエッセイで、この本に触発された競馬ファンは数知れず。いわば地方競馬行脚のバイブル本みたいなものだった。

その中で山口瞳氏は旧盛岡競馬場（緑が丘）をこう評した。「まるで遊園地のフィールド・アスレチックだ」

1周1600m左回り。現在の盛岡競馬場（OROパーク）も踏襲しているが、コース形態が非常に特殊だった。

主要レースは1420m。この中途半端な距離には理由がある。当初は1400mだったが、1～2コーナー中間がスタート地点ではあまりにも危険だということで20m延長。1コーナーまで引き伸ばされたが、それでもカーブ発走には変わりなし。人馬とも細心の注意を払ってゲートを出なければならなかった。

現在、緑が丘の旧盛岡競馬場は高松公園



昭和45年頃の旧盛岡競馬場（『いわての競馬史』より）

に姿を変え、市民の憩いの場となっているが、コースの名残は今でもある。

かつての走路だったところに道路ができているが、向正面だった上り勾配がすごい。造成で緩やかに削られてしまったが、当時の高低差は8.8mもあった。

さらに3コーナーを頂点に、いきなり下り坂がある上、4コーナーまできついカーブ。騎手は相当怖かったに違いない。

実際、調教を終わった後、旧盛岡競馬場1周を歩いてみたことがあるが、3コーナーの下り坂は、例えると崖から落ちるような感じだった。

そして4コーナーからゴールまで直線約400m。トリッキーなコース形態に加え、長い直線を駆け抜けるためには、確かな体力が必要だった。

この旧盛岡競馬場の設計にかかわったのが『一條記念みちのく大賞典』で知られる

一條牧夫さんのご子息・友吉さん。

かつて岩手競馬情報誌『テシオ』の“岩手競馬今昔物語”の取材で一條さんの家へ足しげく通い、旧盛岡競馬場の設計図を現物で見せていただいた。

なぜ向正面に坂があったかという点、軍馬の育成を目的としたため。1933(昭和8)年に緑が丘の盛岡競馬場は完成したが、一條友吉さんは坂路で鍛える効果をすでに認識していたからだった。

1周1600m左回りのコース形態は一條友吉さんが若い頃、アメリカ修行へ行った経験から導入したもの。数々の強豪が誕生したのは、決して偶然ではなかった。

スイフトセイダイ、グレートホープ、極めつけはトウケイニセイだった。脚元に爆弾を抱えていたトウケイニセイは、無敗の18連勝まで一度も追い切りをしたことがなかった。坂路だけで心肺を強化できた。

1995年、緑が丘の旧盛岡競馬場は62年間にわたる任務を終え、翌年から現在の盛岡競馬場へバトンタッチされた。

しかし、直線上り坂と別名・黄金競馬場はORO（ラテン語で黄金の意味）へと変わって受け継がれている。

松尾康司（まつお こうじ）

1958年、青森県三戸町生まれ。岩手競馬専門紙記者、岩手競馬情報誌『テシオ』編集長などを経て、現在はグリーンチャンネル「iチャンネル」出演、ウェブサイト「勝ちそーチャンネル」など。



第17回 ノースクイーンカップ

7月18日(水) 3歳以上牝馬 門別1800m

長きにわたって、ホッカイドウ競馬で唯一の古馬牝馬重賞だったが、2014年には、プリーダーズゴールドカップが牝馬限定のJpnⅢとしてリニューアル。さらに翌15年には、このレースの前哨戦としてヒダカソウカップが創設され、古馬牝馬路線が整備された。10年にスタートしたグランダム・ジャパン古馬シーズンの対象レー



写真●写真のトライ

2017年ノースクイーンカップ ジュエルクイーン

スで、今年は第3戦（全9戦）として実施される。ヒダカソウカップからの臨戦が多く、過去3回では、1着馬は毎年連対し、2着馬も1勝、3着1回と好成績。また1番人気は10年連続で連対と信頼度は抜群だ。今年こそ、ここから、プリーダーズゴールドカップJpnⅢでJRA勢と互角に戦えるヒロインの登場に期待したい。

第30回 ばんえいグランプリ

8月12日(日) 3歳以上 帯広200m



写真●ばんえい十勝

2017年ばんえいグランプリ ニュータカラコマ

ばんえい競馬上半期の総決算として親しまれているBG1。ファン投票での上位7頭に通算取得賞金上位馬（ファン選出馬を除く）を加えたメンバーによる争い。歴代勝ち馬には生涯獲得賞金が1億円超のタカラフジヤアサギリ、スーパーペガサスら

の名も。なお、アサギリの4連覇（1991～94年）はいまだに破られていない。ファン投票1位馬は2009年のフクイズミを最後に勝利なし（16年センゴクエースは回避）。16年の勝ち馬で同一年度に帯広記念、ばんえい記念と古馬BG1をすべて制したオレノココロでさえ、昨年ファン投票1位で3着に敗れている。今年こそ連敗ストップするか。

第12回 秋桜賞

9月11日(火) 3歳以上牝馬 名古屋1400m

グランダム・ジャパン（GDJ）古馬シーズンの対象レースとして2010年から地方全国交流へ。過去3回で3着以内に入った9頭の所属は南関東3頭、金沢1頭、兵庫3頭、高知1頭で、地元名古屋は1頭のみと苦戦している。その9頭の前走は、GDJの金沢・読売レディス杯が7頭と多く、1、2着馬とも3着以内に入線。また、1～2走前に同じくGDJの園田・兵庫サマークイーン賞を使われていた馬も好相性で、特に2着馬は必ず馬券に絡んでいる。昨年は、前走読売レディス杯2着馬が1着、前走兵庫サマークイーン賞1着馬が2着で、3着馬は、2走前が兵庫サマークイーン賞2着で、前走が読売レディス杯1着だった。

ばんえい競馬



場番号 帯広03#

●能力検査、今昔

ばんえい十勝では、4月8日、今季デビューする2歳新馬の能力検査が行われた。一番時計は牡馬のジェイエースで1分27秒7の好タイムで合格。全部で22レースが行われ、1戦毎に、我が愛馬たちの走りに一喜一憂するのは変わらぬ光景であるが、ここ数年気になるのが、登録馬の減少はもちろん、スタンドの観客数が減っていることである。

2歳馬たちがこれから長い競走生活を送るためには、必ずクリアしなければならないのが能力検査。どんな名血で素質や馬体が素晴らしくても、検査に合格し



4月29日 ばんえい十勝オッズパーク杯 コウシュハウカイ

なければ競走馬の資格を得ることはできない。当然オーナーはもちろん、調教師は合格馬の頭数でその手腕を問われ、騎手にとっても検査での騎乗数が人気のバロメーターでもあり、合格馬がお手馬になることが多いため力も入る、ばんえい界一番の春の行事である。今と違い、昭和60年代は、スタンドでの車観戦が許可されていて、当日は早朝から正面入口に車の列が並び、そのナンバーは、道内はもとより本州からの大型バスもあり、愛馬たちの走りを少しでも近くで見ようと場所取り合戦が始まる。

検査も今の基準タイムの4分ほどをクリアさえすれば合格という形式ではなく、最初に合格頭数が決められていて、それ以下の馬は0秒1遅くても不合格と、

それは厳しい狭き門であった。またスタンドのあちこちで情報を収集し、合格したばかりの馬が高値で商いが行われる。生産者や関係者などは経済に直決するために真剣勝負であった。

ミスターばんえい・金山明彦騎手（現調教師）のマルゼンバージが2度目の農林水産大臣賞典（現在のばんえい記念）優勝を果たし、キンタローから数えて5頭目の賞金取得額1億円を達成したばんえい黄金期の平成8年（1996年）は、登録馬数1156頭のうち、合格馬は225頭で4頭に1頭の狭き門。

今年は193頭が受験し、合格数159頭は82.4%の合格率を比べても歴然である。

文●小寺雄司

●ばんえい競馬重賞勝ち馬一覧 2018年3月～2018年5月

日付	レース名(条件)	距離	勝ち馬名(性齢)	騎手名	所属・調教師名
3/4	イレネー記念(3歳)	200	カネサダイマオー(牡3)	藤野俊一	ばんえい・松井浩文
3/11	ボブラ賞(4歳・5歳)	200	マルミゴウカイ(牡5)	藤本 匠	ばんえい・梶籠重人
3/25	ばんえい記念(4歳以上)	200	オレノココロ(牡8)	鈴木恵介	ばんえい・梶籠重人
4/29	ばんえい十勝オッズパーク杯(4歳以上)	200	コウシュハウカイ(牡8)	藤本 匠	ばんえい・松井浩文

ホッカイドウ競馬

場番号 門別 06#

●夏競馬も見どころたくさん

今季も開幕から2カ月半近くが経過。全国の耳目を集める2歳戦線では“日本一早い2歳重賞”栄冠賞が6月28日に行われ、優勝馬は7月22日、JRA函館2歳ステークスGⅢへの優先出走権をゲット。翌週から始まるJRA札幌開催では2歳オープン特別・コスモス賞、クローバー賞（それぞれ2着以内で札幌2歳ステークスGⅢへの優先出走権を獲得）のほか、最終日9月2日のすずらん賞は昨年単勝5530円の大穴をあけたリュウノユキナを筆頭に、門別からの挑戦馬が活躍を見せる傾向にある。

一方、これら芝路線には向かわず地元門別で7月31日のブリーダーズゴールドジュニアカップをはじめ毎開催組まれるオープン特別、重賞から頭角を現してくる逸材も数多い。9月以降は地方各地で実施される交流重賞への遠征が頻繁になるだけでなく、各レースで中心勢力を形成することも多いだけに、全国のファン諸兄にとっては、4月半ばのシーズン開幕当初から“門別2歳戦線”に注目すべき理由を再認識させられる季節になる

ことだろう。

昨年、3歳ラスト冠の王冠賞を7馬身差で圧倒したスーパーステーションが水沢・ダービーグランプリV後に移籍していた川崎から戻り、開幕シリーズのコスモバルク記念と続く赤レンガ記念をいずれも逃げ切り2連勝。序盤から流れが速くなりがちな南関東A級では自分のペースで運べず苦戦が続いたが、序盤ゆったり流れる門別でマイペースに持ち込めた際は格別に強さを感じさせる。夏から秋にかけても古馬王道路線の主役を走り続けそうだ。

長く脚を使える重賞3勝馬、元南関東オープンのドラゴンエールが同じ2戦で続けて2着。序盤から流れて宿敵スーパーステーションのマイペースが崩れた際に勝機が訪れるか。昨秋から往時の勢いに翳りが始めていたオヤコダカは同じ2



4月25日 コスモバルク記念 スーパーステーション

戦とも1番人気に推されたが3着→4着と後退。先行して3コーナー手前からグイグイ加速していく、ほぼ同タイプと言える活きの良い後輩（スーパーステーション）の台頭で、“王座奪還”に向けては戦法変更、脚質転換という思い切った対応が求められることにもなりそう。逆襲なるかに注目だ。

文●ひだか応援隊

●ホッカイドウ競馬重賞勝ち馬一覧 2018年3月～2018年5月

日付	レース名(条件)	距離	勝ち馬名(性齢)	騎手名	所属・調教師名
4/25	コスモバルク記念(3歳以上)	1800	スーパーステーション(牡4)	阿部 龍	北海道・角川秀樹
5/23	赤レンガ記念(3歳以上)	2000	スーパーステーション(牡4)	阿部 龍	北海道・角川秀樹
5/30	北斗盃(3歳)	1600	サザンヴィグラス(牡3)	五十嵐冬樹	北海道・川島洋人

岩手競馬



場番号 盛岡11・水沢12#

写真●岩手県競馬組合

●古馬の主役が勢ぞろい

この夏の岩手競馬最大の注目は、やはり8月15日に行われるクラスタースタートJpnⅢということになるだろう。期待を集めるのはラブバレット。過去3、3、2着を経て4回目の挑戦となるが、今季はこれまでと違い、東京スプリントJpnⅢ、北海道スプリントカップJpnⅢと1200メートルのレースを続けて選択していることから、タイトル奪取への気持ちが伝わってくる。約3年にわたって交流重賞を走り続けているが、JRA遠征の根岸ステークスGⅢを除いてほとんど大きな崩れなし。この間、短距離路線では地方



5月6日 シアンモア記念 ベンテンコソウ

所属馬のグレードタイトル獲得が少なくないだけに、ラブバレットにチャンスが巡ってきていても不思議はない。3年前のクラスタースタート時は、3着入線が判った時点でスタンドから拍手がおきたが、昨年は僅差2着惜敗でもタメ息のゴール前となったようにファンの期待は年々高まってきた。今年は地元ファン大歓声のゴールとなることを筆者も願っている。

エンパイアペガサスがビッグタイトルを手土産に水沢へ帰ってきた。冬期間は昨年同様に浦和の平山真希厩舎へ移動、南関東で3戦したあとに笠松のオグリキャップ記念へ遠征。1番人気ではあったが、後続を2秒8離しての大差勝ちには驚きを隠せなかった。昨年末の桐花賞優勝時と比べて明らかにパワーアップを



4月29日 やまびこ賞 チャイヤブーン

果たしている。これまでダートグレード挑戦は浦和記念JpnⅡ(6着)の1戦のみであったが、今年は、みちのく大賞典をステップに遠征プランが練られる。

ベンテンコソウは春シーズンを早めに切り上げて、青藍賞から戦線復帰予定。マイルチャンピオンシップ南部杯JpnⅠを目指す予定だ。

文●深田桂一(ケイシュウニュース)

●岩手競馬重賞勝ち馬一覧 2018年3月～2018年5月

日付	レース名(条件)	距離	勝ち馬名(性齢)	騎手名	所属・調教師名
4/1	あやめ賞(3歳牝)	水沢 1400	スターギア(牝3)	齋藤雄一	岩手・櫻田康二
4/8	赤松杯(4歳以上)	水沢 1600	ベンテンコソウ(牡4)	村上 忍	岩手・菅原 勲
4/22	留守杯日高賞(3歳牝)	水沢 1600	エグジビッツ(牝3)	岩橋勇二	北海道・田中淳司
4/29	やまびこ賞(3歳)	盛岡 1800	チャイヤブーン(牡3)	村上 忍	岩手・千葉幸喜
5/6	シアンモア記念(4歳以上)	盛岡 1600	ベンテンコソウ(牡4)	村上 忍	岩手・菅原 勲

金沢競馬

場番号 41#

写真●石川県競馬事業局

●同期二人のダービー

5月29日に行われた今年の石川ダービーは、吉原寛人騎手と藤田弘治騎手の地方競馬教養センターでの同期二人が明暗を分けた。

藤田騎手が騎乗したノブイチは、金沢3歳重賞の一冠目・北日本新聞杯で直線だけで2着以下を大差引き離れた圧勝ぶりから、二冠目の石川ダービーも1番人気に支持された。しかし藤田騎手には懸念があった。同じ鈴木長次厩舎所属で2番人気に推されたサノノツルギの存在で、中央から転入してきて3戦負けなしで調教も任されていた。「ノブイチは行



5月29日 石川ダービー アルファティハ

く気になってからのパワーはすごいけど、サノノツルギも底知れぬスピードがある」と素質は高さを感じていた。とはいえ体はひとつしかないため、サノノツルギは名古屋から駆けつけてくれた岡部誠騎手に手綱を任せることになった。

一方の吉原騎手は直前まで乗り馬が決まらず、結局アルファティハに初騎乗することに。当日は3番人気まで上がったが、先頭に立つと気を抜く癖があって中央から転入してきてここまで1勝と勝ちきれないレースが続いており、北日本新聞杯でも離された5着と決して評価は高くなかった。

ゲートが開いて注目の先手争いは、ジュウワンローズを抑えたサノノツルギが予想通り逃げて、ノブイチは無理に先行せず後方待機から後半勝負に賭けた。ど

の馬も走りやすい内コースをキープしたため縦一列の展開となり淡々とレースが流れるかと思われたが、なんとアルファティハが1周目スタンド前で早めに動いて1コーナーまでに先頭を奪う奇策に出た。慌てて後続勢が追いかけたが、4コーナー先頭で回ってリードを保ったまま直線に突入。サノノツルギが2番手から、ノブイチが直線大外から懸命に詰め寄ろうとしたが捕まえることはできなかった。

「ダービーだから勝たなければいけない」藤田騎手。「ダービーだからイチかバチかの勝負に出た」吉原騎手。ダービーというレースに対しての考え方の違いが勝敗を左右した。

文●中部地方競馬記者クラブ

●金沢競馬重賞勝ち馬一覧 2018年3月～2018年5月

日付	レース名(条件)	距離	勝ち馬名(性齢)	騎手名	所属・調教師名
4/29	北日本新聞杯(3歳)	1700	ノブイチ(牡3)	藤田弘治	金沢・鈴木長次
5/6	金沢スプリングカップ(4歳以上)	1900	ムーンファースト(牡4)	吉原寛人	金沢・金田一昌
5/29	石川ダービー(3歳)	2000	アルファティハ(牡3)	吉原寛人	金沢・金田一昌

笠松競馬

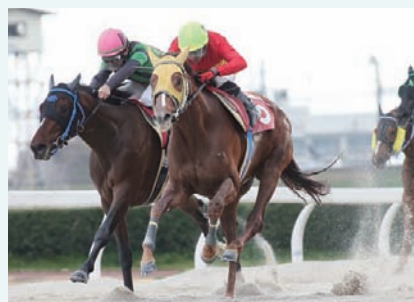


場番号 42#

●マラソンレース・オグリキャップ記念

春のメインはオグリキャップ記念。笠松一番の長丁場2500メートルで争われる地方全国交流重賞に、スタミナ自慢が集まった。単勝1番人気の浦和（現在は岩手へ転厩）のエンパイアペガサスが中団から徐々にポジションを上げ、2周目の3コーナーで先頭に立つとあとはひとり旅。2着以下に大差をつける完勝で重賞10勝目に花を添えた。2月ウインター争覇に、3月マーチカップの重賞を連勝した地元馬ハタノリヴィールが3番人気に推されて地元Vも期待されたが、力負けして淡い夢に終わった。

南関東東区のレベルの高さと、東海の



4月4日 新緑賞 ビップレイジング(外5番)

第一人者・岡部誠騎手の底力を、改めて認識させる優勝だった。レースの流れと展開を見極め、岡部騎手は中団位置からポジションを上げて、エンパイアペガサスを巧みに、そして完ぺきにエスコートした。「カットとなるところもあるから、スローから一気にペースを上げるようなレースはしなかった」。自身4勝目となるオグリキャップ記念優勝を岡部騎手は涼しい顔で振り返った。

●生え抜きベルボームに熱視線

一方、オグリキャップ記念のマラソン重賞とは対照的に、笠松の夏（6～8月）の重賞戦線は、短距離1400メートルとマイル戦へと変わる。秋の一番・笠松グランプリ（11月22日）に向けた戦いがスタートする。重賞実績は劣るもの



4月26日 オグリキャップ記念 エンパイアペガサスの、確実に力を蓄える笠松デビュー馬ベルボームは目の離せない1頭だ。昨春のC級1組特別3連勝を契機にブレイクした勢いはまだ衰えを知らない。5月には東海クラウンを快勝で飾り、重賞も視野に捕らえている。生え抜き馬が活躍すれば地元ファン、関係者は盛り上がる。ベルボームのさらなる飛躍が待たれる夏競馬だ。

文●中部地方競馬記者クラブ

●笠松競馬重賞勝ち馬一覧 2018年3月～2018年5月

日付	レース名(条件)	距離	勝ち馬名(性齢)	騎手名	所属・調教師名
3/22	マーチカップ(4歳以上)	1900	ハタノリヴィール(牡5)	佐藤友則	笠松・井上孝彦
4/4	新緑賞(3歳)	1600	ビップレイジング(牡3)	藤原幹生	笠松・笹野博司
4/26	オグリキャップ記念(4歳以上)	2500	エンパイアペガサス(牡5)	岡部 誠	浦和・平山真希
5/10	ぎふ清流カップ(3歳)	1600	ウォーターループ(牝3)	友森翔太郎	名古屋・塚田隆男

名古屋競馬

場番号 43#

●春の主役もサムライドライブ

名古屋大賞典JpnⅢ、かきつばた記念JpnⅢと、全国ファンも注視したダートグレードが2レース行われたが、春の主役も地元の快速サムライドライブだった。生え抜き馬重賞の3月中京ベガスターカップを難なく仕留め、三冠レース第1戦の駿蹄賞も圧倒的人气に応えた。いつものように主導権を奪うと終始レースを支配。華麗な逃げ切り、7馬身差完勝でデビュー以来の連勝を“10”、重賞連勝も“7”に伸ばした。

「また、強い勝ち方でした。東海ダービーもこのまま勝ちたいね」。慎重なジャッジやコメントが少なくない丸野勝虎



3月29日 名古屋大賞典JpnⅢ サンライズソア

騎手から東海ダービーV宣言が早くも飛び出せば、角田輝也調教師もきっぱり言い切った。「(無敗の)緊張感をスタッフとともに楽しみたい。最高の状態で迎え、ダービーを獲りにいきます」。

しかし、断然人気に推された本番では楽な逃げにはならず1馬身半差で惜しくも2着。夏以降の巻き返しが期待される。

●成長の手ごたえ村上騎手

着実に力を蓄えるヤング騎手の活躍も光った春だった。その筆頭が5年目に突入した村上弘樹騎手（23歳・田中敏和厩舎）だ。年々勝ち星を伸ばす好素材だが、今年は5カ月足らずで早くも50勝到達。自己ベストは昨年の61勝。その



5月2日 駿蹄賞 サムライドライブ

活躍ぶりのほどが分かるだろう。5月23日現在、堂々と名古屋リーディング3位にランクイン。「最近は人気馬でも結構、落ち着いて乗れるようになってきました。少しずつ進歩してるかな」。村上騎手は自分でも手ごたえを感じはじめています。さらなるブレイクが期待できそう。

文●中部地方競馬記者クラブ

●名古屋競馬重賞勝ち馬一覧 2018年3月～2018年5月

日付	レース名(条件)	距離	勝ち馬名(性齢)	騎手名	所属・調教師名
3/13	若草賞(3歳牝)	1400	レコパンハロウィー(牝3)	大山真吾	兵庫・尾原 強
3/28	中京ベガスターカップ(3歳)	1600	サムライドライブ(牝3)	丸野勝虎	名古屋・角田輝也
3/29	名古屋大賞典JpnⅢ(4歳以上)	1900	サンライズソア(牡4)	M.デムーロ	JRA・河内 洋
4/10	東海桜花賞(4歳以上)	1400	カツゲキキョキ(牡5)	大畑雅章	名古屋・錦見勇夫
4/17	東海クイーンカップ(3歳牝)	1800	ウォーターループ(牝3)	友森翔太郎	名古屋・塚田隆男
4/30	かきつばた記念JpnⅢ(4歳以上)	1400	サクセスエナジー(牡4)	松山弘平	JRA・北出成人
5/2	駿蹄賞(3歳)	1800	サムライドライブ(牝3)	丸野勝虎	名古屋・角田輝也

兵庫競馬



場番号 園田51・姫路52#

写真●兵庫県競馬組合

●摂津盃での再戦に期待

ゴールデンウィークの園田競馬は、兵庫チャンピオンシップJpnⅡが行われた5月3日には1日の売り上げが久々に10億円を突破した。なおそのメインレースはJRA馬が3年連続で5着までを独占した。翌4日、“園田の天皇賞・春”ともいべき兵庫大賞典（1870メートル）は中・長距離の好メンバーが揃って、激戦が期待された。新春賞を逃げ切っている2番人気マイタイザンがロケット・スタートを決めた。アサクサセーラも内枠を生かして迫ったが、3コーナー手前で折り合いをつけたためにペースがガクンと落ちた。中位を進んでいた1番人気キクノソルが向正面からスパートして、3



5月3日 兵庫チャンピオンシップJpnⅡ テーオーエナジー

コーナー手前でマイタイザンの2番手まで進出した時にグリーンとペースが上がった。しかし、マイタイザンに上がり3ハロン37秒9のメンバー最速時計をマークして逃げ込まれては差し馬勢に出る幕はなかった。追走したキクノソルも上がり37秒9の同タイムだったが、2馬身半差は変わらず敗戦。3番人気エイシンニシパが上がり38秒2の脚を使い、伸びてきたが3馬身差の3着まで。これら3頭は、各地の交流（地方、中央）レースへの挑戦や、ハンデ戦で争われる、お盆シリーズの摂津盃（8月17日・1700メートル）での再戦が楽しみだ。

●5頭目のDG勝ち馬誕生

一方、短距離勢は3月20日の高知・黒船賞JpnⅢで、兵庫勢として5頭目のダートグレード優勝馬エイシンヴァラーが



5月4日 兵庫大賞典 マイタイザン

誕生した。かきつばた記念JpnⅢは4着に敗れたが、前年のかきつばた記念馬トウケイタイガーや、JRA6勝馬エイシンスパルタンなどもダートグレードでの活躍が期待される。

そして、今年度も重賞が新設、復活などで9月13日の園田オータムトロフィー（3歳・1700メートル）、11月14日の楠賞（3歳・1400メートル）の2レースが増える。

文●池永博省（大阪日刊スポーツ）

●兵庫競馬重賞勝ち馬一覧 2018年3月～2018年5月

日付	レース名(条件)	距離	勝ち馬名(性齢)	騎手名	所属・調教師名
3/1	六甲盃(4歳以上)	園田2400	ノブタイザン(牡5)	杉浦健太	兵庫・新井隆太
4/12	菊水賞(3歳)	園田1700	アゼツライト(牡3)	川原正一	兵庫・荒山義則
5/3	兵庫チャンピオンシップJpnⅡ(3歳)	園田1870	テーオーエナジー(牡3)	岩田康誠	JRA・宮 徹
5/4	兵庫大賞典(4歳以上)	園田1870	マイタイザン(牡5)	杉浦健太	兵庫・新井隆太
5/17	のじぎく賞(3歳牝)	園田1700	トゥリパ(牝3)	吉村智洋	兵庫・平松徳彦

高知競馬

場番号 55#

写真●高知県競馬組合

●紅一点の歴史的勝利！

5月3日に行われた第9回福永洋一記念。今年は2年ぶりに福永洋一氏をご来場され、晴天の元で行われた。ラインナップも実に豪華。イツガナハブン、ワイルドコットン、ヒロノカイザーといった牡馬の強豪が揃っていた。が、勝ったのは紅一点のティアアップリパティ。好位抜け出しの盤石の取り口で、同レース初となる牝馬の勝利を飾った。ティアアップリパティは暮れの高知県知事賞で3着と善戦し、1月の大高坂賞でも牡馬相手に6馬身差で圧勝と、牝馬離れた活躍を見せていたが、福永洋一記念でもその強さは健在。過去にも歴史に名を刻んだ牝馬は存在したが、ティアアップリパティも



5月3日 福永洋一記念 ティアアップリパティ

すでにその資格を得た名牝と言ってもいいだろう。鞍上の宮川実騎手は同レース2勝目。表彰式での嬉しそうな表情が印象的だった。来年は節目の第10回となるが、また記憶に残る好レースを期待したいと思う。

●3歳三冠戦線のスタート

近年は重賞・準重賞が増え、ますます充実している3歳戦線だが、やはり三冠レースの存在感は別格。5月6日には第22回黒潮皐月賞が行われ、ヴァリヤンツリがゴール前の接戦をモノにした。同馬は高知デビュー馬であり、2歳重賞の黒潮ジュニアチャンピオンシップを勝利。3歳となってからは重賞・土佐春花賞、準重賞・仙台屋桜特別と取りこぼしが続いていたが、この黒潮皐月賞では抜



5月6日 黒潮皐月賞 ヴァリヤンツリ(外4番)

け出すと甘くなる面を考慮し、ギリギリまで追い出しを待つ作戦が功を奏した印象があった。まだ気性的に若さは残るが、今後が楽しみな存在。同期である中西達也調教師、鞍上の西川敏弘騎手のコンビがどのような馬に育てていくのか。高知優駿、黒潮菊花賞と続く三冠ロードで、その成果を見せて欲しいと思う。

文●風間恒一（中島高級競馬塾）

●高知競馬重賞勝ち馬一覧 2018年3月～2018年5月

日付	レース名(条件)	距離	勝ち馬名(性齢)	騎手名	所属・調教師名
3/11	御厨人窟賞(4歳以上)	1400	セトノプロミス(牡8)	林 謙佑	高知・松木啓助
3/20	黒船賞JpnⅢ(4歳以上)	1400	エイシンヴァラー(牡7)	下原 理	兵庫・新子雅司
3/25	土佐春花賞(3歳)	1300	スターアイリス(牝3)	木村直輝	高知・胡本友晴
4/15	二十四万石賞(4歳以上)	1900	イツガナハブン(牡9)	赤岡修次	高知・田中 守
5/3	福永洋一記念(4歳以上)	1600	ティアアップリパティ(牝5)	宮川 実	高知・打越勇児
5/6	黒潮皐月賞(3歳)	1400	ヴァリヤンツリ(牝3)	西川敏弘	高知・中西達也

佐賀競馬



場番号 61#

●各路線の注目馬は？

佐賀競馬では、今年度から重賞路線が2歳、3歳、古馬の各カテゴリーで大幅な変更が行われた。3歳戦では佐賀皐月賞が昨年までのB級S2重賞から3歳限定重賞へ変更され、従来の飛燕賞に替わって佐賀3歳三冠の第1冠目となった。その佐賀皐月賞は飛燕賞2着のリンノゲレイロが1周目の直線で先頭に立ち、そのまま押し切って勝利。続く九州ダービー栄城賞でも1番人気に推されたが、直線で伸びず8着に敗退した。栄城賞を勝利したのは兵庫から転入3戦目のスーパージェットで、同馬を管理する九日俊光調教師は昨年のスーパーマックスに続き栄城賞2連覇となった。



5月13日 佐賀スプリングカップ キングブライド

古馬中距離路線では佐賀スプリングカップが新設され、15年の栄城賞馬キングブライドが古馬重賞初勝利。鞍上の川島拓騎手は重賞初制覇となった（いずれも旧S2重賞を除く）。同馬は夏に弱い体質で、このまま夏休みに入る予定とのこと。同じく新設重賞の佐賀王冠賞（7月8日、2000メートル）は、キングブライド以外の佐賀スプリングカップ上位馬による仕切り直しの一戦となりそうだ。

短距離路線は、春夏シーズンは吉野ヶ

里記念（7月22日）からサマーチャンピオンJpnⅢ（8月14日）と、従来どおりの構成。古豪ウルトラカイザーが九千部山賞（5月26日）を勝って1400メートル戦での今年3勝目を挙げ、存在感を維持している。昨年の吉野ヶ里記念以降勝利から遠ざかっていたマサヤも、阿蘇山特別（4月12日）を勝利し、吉野ヶ里記念連覇へ向けて復調気配を見せてきている。

文●上妻輝行

●佐賀競馬重賞勝ち馬一覧 2018年3月～2018年5月

日付	レース名(条件)	距離	勝ち馬名(性齢)	騎手名	所属・調教師名
3/3	すみれ賞(3歳以上)	1800	キタサンシリーズ(牡5)	山口 勲	佐賀・北村欣也
3/4	春望賞(3歳以上)	1400	テイエムサンピラー(牝5)	倉富隆一郎	佐賀・川田孝好
3/10	鏡山賞(3歳以上)	1400	テイケイネックス(牡6)	田中 純	佐賀・九日俊光
3/11	はがくれ大賞典(3歳以上)	2000	エイシンニシパ(牡5)	田中 学	兵庫・橋本忠明
3/17	古伊万里賞(3歳)	1800	モダンクラシック(牡3)	山口 勲	佐賀・池田忠好
3/18	佐賀弥生賞(3歳以上)	1800	キタサンシリーズ(牡5)	田中 純	佐賀・北村欣也
3/24	松浦川賞(3歳以上)	1400	キョウワカイザー(牡8)	鮫島克也	佐賀・大垣敏夫
3/31	開聞岳賞(3歳以上)	1800	コウザンゴールド(牡6)	鮫島克也	佐賀・手島勝利
4/8	ル・プランタン賞(3歳牝)	1800	マイメン(牝3)	山口 勲	佐賀・東 眞市
4/22	佐賀皐月賞(3歳)	1800	リンノゲレイロ(牡3)	岡村健司	佐賀・真島元徳
5/13	佐賀スプリングカップ(3歳以上)	1800	キングブライド(牡6)	川島 拓	佐賀・土井道隆
5/27	九州ダービー栄城賞(3歳)	2000	スーパージェット(牡3)	田中 純	佐賀・九日俊光

競馬場別
騎手リーディング *Top3*

(2018年1月1日～5月17日)

ばんえい競馬

順位	氏名	騎乗回数	1着	2着	3着	勝率(%)	連対率(%)	取得賞金(円)
1	鈴木恵介	324	66	43	48	20.4	33.6	24,130,000
2	阿部武臣	356	59	57	52	16.6	32.6	12,071,000
3	工藤 篤	319	57	49	48	17.9	33.2	10,352,000

ホッカイドウ競馬

順位	氏名	騎乗回数	1着	2着	3着	勝率(%)	連対率(%)	取得賞金(円)
1	桑村真明	64	16	15	10	25	48.4	10,691,000
2	服部茂史	52	13	10	9	25	44.2	11,930,000
3	石川 倭	57	11	7	8	19.3	31.6	8,979,000

岩手競馬

順位	氏名	騎乗回数	1着	2着	3着	勝率(%)	連対率(%)	取得賞金(円)
1	山本聡哉	190	56	31	20	29.5	45.8	21,070,000
2	村上 忍	219	50	38	31	22.8	40.2	33,761,000
3	山本政聡	213	28	24	29	13.1	24.4	17,016,000

金沢競馬

順位	氏名	騎乗回数	1着	2着	3着	勝率(%)	連対率(%)	取得賞金(円)
1	藤田弘治	143	33	16	20	23.1	34.3	15,604,000
2	青柳正義	151	30	21	21	19.9	33.8	12,241,000
3	中島龍也	116	16	22	21	13.8	32.8	8,433,000

笠松競馬

順位	氏名	騎乗回数	1着	2着	3着	勝率(%)	連対率(%)	取得賞金(円)
1	佐藤友則	235	67	42	32	28.5	46.4	22,562,000
2	筒井勇介	246	45	35	31	18.3	32.5	14,581,000
3	向山 牧	154	33	27	14	21.4	39	10,941,000

名古屋競馬

順位	氏名	騎乗回数	1着	2着	3着	勝率(%)	連対率(%)	取得賞金(円)
1	岡部 誠	261	65	53	19	24.9	45.2	27,930,000
2	丸野勝虎	263	58	37	24	22.1	36.1	36,743,000
3	村上弘樹	250	49	19	38	19.6	27.2	16,641,000

兵庫競馬

順位	氏名	騎乗回数	1着	2着	3着	勝率(%)	連対率(%)	取得賞金(円)
1	吉村智洋	474	107	90	76	22.6	41.6	75,829,000
2	下原 理	417	88	57	53	21.1	34.8	64,869,000
3	田中 学	386	85	89	65	22	45.1	80,840,000

高知競馬

順位	氏名	騎乗回数	1着	2着	3着	勝率(%)	連対率(%)	取得賞金(円)
1	赤岡修次	233	82	43	27	35.2	53.6	43,950,000
2	永森大智	307	74	56	42	24.1	42.3	37,972,000
3	宮川 実	244	66	31	31	27	39.8	31,553,000

佐賀競馬

順位	氏名	騎乗回数	1着	2着	3着	勝率(%)	連対率(%)	取得賞金(円)
1	山口 勲	268	85	54	32	31.7	51.9	34,828,000
2	岡村健司	336	43	41	48	12.8	25	19,398,000
3	田中 純	315	37	29	40	11.7	21	14,730,000

ジョッキーインタビュー

取材・文 ● 浅野靖典

高松亮騎手は2017年9月4日に地方通算1000勝を達成。その勝利数は2014年から一気に増えている。

自分ではいくつ勝っているとか、年間でいくつ勝とうとか、そういった数を意識するタイプではないんですよ。2013年までと2014年以降では勝利数が倍くらい違っていますが、何がその要因なのかと聞かれると、よくわからないというのが正直なところ。自分自身の感覚としても、技術が上がってきたからというわけでもないように思います。ただ、勝負ごとについて回る、いわゆる流れが良いとか悪いとか、それがあまりないような感じはありますね。昔は若かったですからそういう波みたいなものがあつたかなとは思いますが、ここ最近はその数が少なくなっているような気がします。

しかしながら、2014年以降は岩手リーディングで4位または5位。それ以前は10位前後が定位置だった。

2014年は所属厩舎がリーディングを狙えるくらいの位置にいたというのが大きかったと思います。僕自身も厩舎のために頑張ろうという思いを常に持っていますから。

岩手では2011年度に菅原勲騎手が引退し、2014年度は小林俊彦騎手が引退。その分も勝ち星の増加につながったのかもしれない。

いやそれが、そういう気持ちがあったくなかったんですよ。今になって考えると、小林さんの分の勝ち星がどこに行くかって、考えておけばよかったかな（笑）。でもその当時は、2大スターがいなくなった岩手をどうすれば盛り上げていけるのか、そこに意識が向いていました。このままだと岩手競馬は人気がなくなってしまうんじゃないのかと心配で、自分がどうこうというよりも、そちらのほうが大きかったですね。騎手会の副会長という立場でもありましたし。



写真 © 岩手県競馬組合

北海道のダモンで南部駒賞を制覇(2017年11月12日)

高松騎手は自分のことよりも全体のことを考えるタイプなのだろう。だから勝ち星の数などへの関心がそれほど大きくないのかもしれない。

でも800勝という数字は意識していましたよ。早く南関東で期間限定騎乗ができる権利を取りたかったのだ。

通算800勝は2015年12月に達成。それに先立って2015年1月からおよそ1カ月間、兵庫での期間限定騎乗を経験した。

兵庫に行こうと考えたのは、厳しい環境に身を置いてみたかったから。岩手に期間限定騎乗で来たことがある寺地誠一騎手に小牧毅調教師を紹介してもらいましたが、それ以外の知り合いはほとんどゼロでした。確かにレースは厳しくて、最初に乗ったときに「これは勝てないな」と思いましたね。とある兵庫の騎手には「なんでわざわざ兵庫に来たの?」とも言われました。それでもだんだんと、スタートしてからのポジション取り、そしてペースが速いかどうかの見極めをどれだけ素早くできるか、そのあたりがつかめてきましたね。そして何よりも、兵庫の人たちにとても良くしていただいたんですよ。そのおかげでたくさん勝つことができました(68戦6勝)。

その翌年も兵庫での1カ月間で75戦10勝をマーク。そして2017年1月はJRAの美浦トレーニングセンターで研修することを選んだ。

美浦に行った理由は、純粋に勉強したいという気持ちですね。2週間ほど堀宣行厩舎に受け入れていただいて、活躍馬にも乗せていただきました。トレセンのあとは、美浦周辺の育成場でも経験を積ませていただいて、収入という点では全然でも、お金には変えられないものを得られたと思います。

そういった期間を経て、2018年1月からは南関東で初めての期間限定騎乗。185戦8勝の成績を残した。

ただ、期間終了の直前に落馬してしまったのが……(4コーナーで馬が大きく躓いて落馬)。あれを防ぐのは難しかったというのは確かで、自分のケガはたいしたものではありませんでしたが、最後の週でしたからね。でもその悔しかった経験が、来年も頑張ろうという気持ちにつながっていくと思います。2カ月間の成績には満足していませんが、いい時間を過ごさせていただきました。毎日が失敗と反省の繰り返しでしたが、楽しかった

高松亮 (岩手)

たかまつ りょう



1986年6月30日生まれ かに座 O型

岩手県出身 佐藤雅彦厩舎

初騎乗/2004年4月18日

地方通算成績/11,007戦1,063勝

重賞勝ち鞍/シアンモア記念、桐花賞、岩手ダービー・ダイヤモンドカップ、南部駒賞、ジュニアグランプリ、岩鷲賞、早池峰スーパースプリント、ピギナズカップ、若鮎賞2回など13勝

※2018年5月21日現在

ですよ。そして岩手に戻ってきて、とくに精神的な面が成長したという実感を持っています。そもそも南関東で乗りたいと思った理由は、もっと騎手として成長したかったから。ですからそこに関しては、ある程度は達成できたと思います。でも同時に、技術の未熟さを感じさせられることにもなりました。

2019年も2月から浦和所属で期間限定騎乗をする予定になっている。

岩手でトップでもない、そんな人間が最初の年の南関東でたくさん乗ることができたのは、本当にみなさんのおかげです。昨年は南部駒賞を北海道のダモンで勝たせていただいたんですが、そのダモンを管理する田中淳司調教師、そしてほかにもたくさんの方々、南関東のみなさんに「高松をよろしく」と話して下さっていたそうなんです。自分でもよく感じるのですが、結局のところ、地元でも別の場所でも、僕はいつも誰かに助けられているんです。

勝負の世界は自分が第一という面はあるが、高松騎手の場合はそれよりも大きなものが意識のなかにあるのかもしれない。

競馬はほとんどが負けるわけですし、乗り替わりだってザラにある世界。ただ、そういう負けてしまう競馬でも、自分が後悔するようなレースだけはしないようにしようと心がけているんです。そう思えるようになったのは、いろいろな経験をしたことで強い気持ちでレースに臨めるようになったからでもありますね。そしてこれからは技術面についても向上させていきたいと思っています。でも個人的に、今の感覚は悪くはないように感じているんです。整体や各種のトレーニングなど、体のケアにはけっこうお金を使っていますからね。その効果が出ているのかもしれませんが(笑)。

トップジョッキーに コースの特徴を聞きました

取材・文●浅野靖典

時計比較の予想は危険

盛岡競馬場には芝コースとダートコースがあるが、ここではレースの大半を占めるダートに絞ってコースの特徴を聞きこんだ。騎手に話を伺う前に、岩手競馬を長らく見守ってきた『テシオ』編集長の松尾康司さんに教えていただいた注意点を紹介したい。

「岩手競馬のとくに下級条件は、前走の時計だけの比較で予想するのは危険。C2クラスは過去に同じ日に出走していた馬が多いから比べやすいのですが、当日の馬場状態と枠順の違いで結果がガラッと変わることがあるんです。たとえば5月5日の第4レース。前走が今回と同じ1200mの良馬場で、今回の1番人気馬より1秒2も遅いタイムで走った馬が、不良馬場で最内枠になったことを味方にして4馬身差で逃げ切ったんです」

時間帯によっても状態は変化

盛岡競馬場のダートコースは、1400m戦がコーナー2つで実施できる日本で唯一の地方競馬場。さらに3コーナーは下り、最後の直線には上り坂がある。馬によって向き不向きが大きく出るコースといえるのかもしれない。

それを踏まえて、まずは阿部英俊騎手に聞いてみると「雨の影響があるときのほうが、差し馬が有利になる感じがありますね。でも馬場の感じは日によって変わるんです。現在は前よりも時計が出るようになりましたが、乗っている感覚としては、そんなに砂が軽くなった感じはしないですね」

それでも基本的には先行有利だそうで「とくに馬場を1周するレースは前に行かないと。最後はバテた馬同士の戦いになりますから」と心がけているようだ。

阿部騎手は「日によって変わる」と話していたが、菅原俊吏騎手によると「時間帯によっても違います」とのこと。「盛岡は水沢よりも馬場の状態が読みにくいと思います。僕たちも最初のレースは手探りという感覚ですよ。今の馬場は以前ほどパワーが必要ではなくなりましたが、でもやはり馬によっては水沢向き、盛岡向きがわりとハッキリしているというところは変わらないです」ということで、平坦小回りで右回りの水沢、広くて起伏がある左回りの盛岡という舞台の違いは、意識しておくべきなのだろう。

時間帯によって変わる件については、山本政聡騎手からも聞くことができた。「きのうの前半戦はインコースが走りやすかったのですが、ハローをかけているうちに砂が内側に寄ってくるみたいなんです。だから最初のうちはインを回ると有利でも、だんだんとそうではなくなることがよくあります」

“きのう”は第1レースから最終レースまで良馬場。ただし、2日前は第5レースまでが不良で、その後は最終レースまで重だった。「同じ良馬場でも前半戦と後半戦では馬場の感触が違います。インコースのどのあたりまでが通っても大丈夫なところなのか、頭を悩ませるところです。また、雨が降ると馬場の中央付近から砂が軽くなっていきますから、それも考えて乗っています」

開催替わりは高配当の狙い目

村上忍騎手にも聞いてみよう。「そうですね、今年の盛岡は例年ほどのクセはないかなあ。水はけが良くなったと思いますし、わりと素直な馬場だとは思いますが」とのこと。ただ「雨が降ったあと、馬場が乾き始めているときは、どういう状況になっているのか予想できないので気を使っている」そうだ。

「1400mや1600mだと向正面の直線が長いので、自然とスピードが出てしまいます。差しが決まるケースが多いのはその影響もあるのかな。乗り役も気を付けているんですけれどね。水沢は差し馬が道中でゴチャついたりペースが落ちてしまった



写真●横川典視

盛岡競馬場3〜4コーナーから直線

りで、結果を出せないことがあるんですが、そういった馬は盛岡で一変しますから開催替わりは面白いですよ。いい配当を取りたいタイプのファンはそこを狙い目になるかな（笑）」

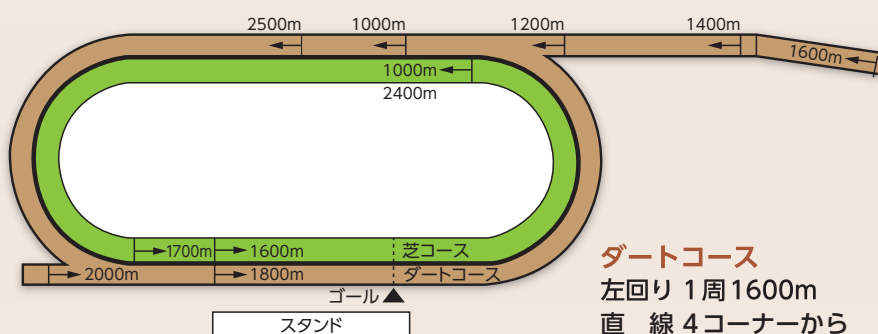
大ベテランの関本淳騎手からは、良馬場のときに注意していることを教えてもらった。「馬場が乾いているときは、砂がだんだんと動いていくんです。そういうときは後半になるとインが急に重たくなるとか、僕らでも戸惑うことがあります。それをいち早く察知しようと、レース後はみんなパトロールビデオを何回も見ていますよ」

また「同じ先行馬でも、内枠がいいときと悪いときがあるんです」とのこと。これは冒頭の松尾さんの『前走の時計がいまひとつだった馬が、不良馬場の最内枠で一変した』という話につながってくる。

いずれにしても、各騎手は馬場の状況を読むことに苦労している様子。それは第1レースの前に調教でコースに入れる盛岡所属の騎手も同様らしい。「水沢の騎手に比べて有利だと思うでしょう？ でもレースが始まると馬場が変わるんですよ。だから調教のときに得た感触や印象は、むしろ考えないようにしています」と、齋藤雄一騎手。

現在の盛岡競馬のダートコースで結果を残すには、そのときそのときの馬場状態と各馬の脚質と枠順がマッチするのかどうか、そこがポイントになっているようだ。

盛岡競馬場



芝コース

左回り 1周1400m

直線 4コーナーから

決勝線まで300m

幅員 25m

高低差 4.6m

フルゲート 14頭

ダートコース

左回り 1周1600m

直線 4コーナーから

決勝線まで300m

幅員 25m

高低差 4.4m

フルゲート 16頭

7月→9月 注目レース 岩手競馬 データ分析

岩手競馬の夏季は、ふたつのJpnⅢが注目。マーキュリーカップはJRA勢優位が続いているものの、クラスターカップは昨年、浦和のブルドッグボスが勝ち、地元岩手のラブバレットが2着など、近年地方

実施日	レース名	距離	前年の勝ち馬(所属)
7/16(祝・月)	マーキュリーカップ JpnⅢ(3歳以上)	盛岡2000m	ミツバ(JRA)
8/5(日)	ひまわり賞(オークス)(3歳牝馬)	盛岡2000m	ビービースペース(岩手)
8/15(水)	クラスターカップ JpnⅢ(3歳以上)	盛岡1200m	ブルドッグボス(浦和)
8/26(日)	ビューチフルドリーマーカップ(3歳以上牝馬)	水沢1900m	ジュエルクイーン(北海道)
9/16(日)	ジュニアグランプリ(2歳)	盛岡芝1600m	モリノラスボス(北海道)
9/23(祝・日)	岩手県知事杯 OROカップ(3歳以上)	盛岡芝1700m	ロソヴァドリナ(大井)

※ M1 及びダートグレードのみ

勢の躍進が目覚ましい。また地方全国交流のM1重賞も3レース組まれている。そのなかから、ここでは、グランダム・ジャパン古馬シーズン第7戦・ビューチフルドリーマーカップが水沢1900mになった12年

以降の過去6回分、地方競馬で唯一芝コースがある盛岡競馬らしいレース、岩手県知事杯 OROカップが盛岡芝1700mになった07年以降の過去11回分から傾向を見ていく。

8/26 ビューチフルドリーマーカップ

●北海道勢が強い

◇地方全国交流戦で、遠征馬が【6-4-3-14】と優勢だが、好走のほとんどは北海道【5-2-2-4】と南関東(川崎・船橋)【1-1-1-4】。特に北海道は、14年を除き、出走があった年は必ず1頭以上馬券に絡んでいる。多くが地元のノースクイーンカップで好成績を収めての参戦で、12年はサクラサクラサクラ、ショウリダバンザイ、15年はサンバビーン、ジュエ

ルクイーンがそれぞれワンツーを決めている。単勝6番人気で勝った13年シャイニングサヤカのように人気薄でも食い込んでくるのでぜひとも押さえたい。北海道、南関東以外の他地区勢で馬券に絡んだのは14年2着タッチデュール(笠松)のみだが、前走が牡馬相手の地元重賞・くろゆり賞で1着という実績があった。

◇地元岩手は2着2回、3着3回までだが、近4年では1頭以上馬券に絡んでいる。地元のステップはフェアリーカップ。3着以内馬が有力だが、重要なのは他地区

勢との力関係で、北海道から3頭以上出走している場合、馬券圏内に入ることは難しい。近3回では、前走がB級で勝利していた馬が2着1回、3着2回と好成績。スパンコールは15年3着、17年2着をともに単勝7番人気で穴をあけた(ただし、2年とも同年のフェアリーカップで3着)。

◇ジョッキーでは、吉原寛人騎手が3勝、2着2回、3着1回と毎年馬券に絡んでいる。すべて3番人気以内だったとはいえ流石といえる。

	枠番	馬番	馬名(所属)	性齢	重量	騎手	調教師	タイム・着差	人気	通過	前走	2走前
17.8.27 水沢1900m 晴・良 10頭	3	3	ジュエルクイーン(北海道)	牝5	55	吉原寛	田中正	2.04.7	1	3-3-2-2	ブリーダーズGC JpnⅢ⑥	ノースクイーンC①
	4	4	スパンコール(岩手)	牝6	55	山本政	瀬戸幸	クビ	7	7-6-4-4	盛岡・B1①	フェアリーC③
	8	10	ミラクルフラワー(岩手)	牝5	55	村上忍	村上実		3	2-2-2-1	フェアリーC①	水沢・A1②
16.8.28 水沢1900m 曇・重 10頭	5	5	ジュエルクイーン(北海道)	牝4	55	吉原寛	田中正	2.02.1	3	5-6-1-1	ブリーダーズGC JpnⅢ④	ノースクイーンC②
	1	1	ユッコ(岩手)	牝4	55	高松亮	佐藤雅	1/2	4	8-9-9-4	盛岡・B1①	盛岡・B1②
	4	4	タイムビヨンド(北海道)	牝4	55	宮崎光	堂山芳	1 1/2	1	7-5-1-2	ノースクイーンC①	門別・A2以下①
15.8.31 水沢1900m 曇・不良 12頭	3	3	サンバビーン(北海道)	牝5	55	岩橋勇	田中淳	2.02.4	1	1-1-1-1	ブリーダーズGC JpnⅢ⑦	ノースクイーンC①
	1	1	ジュエルクイーン(北海道)	牝3	53	吉原寛	田中正		3	4-4-5-2	ノースクイーンC③	北海優駿(3歳)③
	5	6	スパンコール(岩手)	牝4	55	山本聡	瀬戸幸		4	11-10-10-9	盛岡・B1①	フェアリーC③

9/23 岩手県知事杯 OROカップ

●地元馬はローテーションに注目

◇数少ない芝の地方全国交流戦のため、JRAで名をはせていたような猛者の出走もある。盛岡芝に出走経験がなく勝ったのは4頭おり、そのうち07年コスモパルク(北海道、09年も勝利)、11年ダブルオーセブン(北海道)、14年シルクアーネスト(岩手)はいずれも、前年にJRAまたは海外の芝でオープン(世代限定戦含む)勝ちがあった。力が衰えていない

芝の実績馬は素直に信頼したい。例外は、12年のナターレ(川崎)だが、芝そのものに初出走で馬券に絡んだのは、同馬と09年3着サウンドサンデー(船橋)のみ。遠征勢を含め盛岡芝での成績が重要となる。

◇地元の重要ステップは桂樹杯。馬券対象になるのは1~3着馬のみだが、同レースのあとに1戦挟んでいた9頭すべてが馬券圏外に敗退していることは注意したい。10年は、桂樹杯1~3着馬が夏の水沢開催を使われそれぞれ4、9、10着だ

った。また、せきれい賞1着馬は、14、15、17年とぶっつけでこのレースに臨んですべて2着に入っており、夏場、盛岡芝を中心としたローテーションが組まれている馬のほうが狙いが立つ。

◇3歳馬は20頭出走し2勝、2着4回、3着2回。前述した11年1着ダブルオーセブンは例外として、3歳重賞・オパールカップで馬券に絡んでいれば通用する。15年はオパールカップ1、3着馬が3歳ワンツーを決めている。

	枠番	馬番	馬名(所属)	性齢	重量	騎手	調教師	タイム・着差	人気	通過	前走	2走前
17.9.24 盛岡芝1700m 晴・良 13頭	6	9	ロソヴァドリナ(大井)	牝5	55	吉原寛	森下淳	1.45.3	2	2-2-2-1	大井・B1B2⑤	浦和・A2以下⑫
	6	8	サンエイゴールド(岩手)	牡4	57	山本聡	瀬戸幸		4	1	8-6-6-3	せきれい賞(芝)①
	5	7	コウセン(岩手)	牡7	57	山本政	櫻田康	ハナ	3	1-1-1-1	桂樹杯(芝)①	かきつばた賞(芝)①
16.9.25 盛岡芝1700m 曇・良 12頭	8	12	ロソヴァドリナ(大井)	牝4	55	吉原寛	森下淳	1.46.0	3	4-4-4-2	大井・B1B2③	J東京・1000万(芝)⑩
	6	8	ブレークビーツ(岩手)	牡6	57	齋藤雄	城地俊	1/2	6	8-8-7-4	桂樹杯(芝)①	東京シンデレラマイル⑨
	5	7	ヒロノプリンス(金沢)	牡6	57	青柳正	金田一	1 3/4	9	1-1-1-1	金沢・A1①	せきれい賞(芝)⑧
15.9.27 盛岡芝1700m 曇・良 14頭	8	13	ロソヴァドリナ(大井)	牝3	53	矢野貴	森下淳	1.45.5	1	2-2-2-2	オパールC(3歳芝)①	船橋・3歳1組①
	4	5	レジェンドロック(岩手)	牡3	55	山本聡	瀬戸幸	1 1/4	2	6-6-5-3	せきれい賞(芝)①	オパールC(3歳芝)③
	4	6	カネトシディオス(川崎)	牡8	57	高松亮	佐々仁		2	10	8-10-10-6	アフター5スター賞⑭

岩手競馬

サイヤーランキング

取得賞金 & 勝利数

2016年5月1日～2018年4月30日

取得賞金ランキング

勝利数ランキング

■盛岡・芝/ダート総合(1446レース)

種牡馬名	取得賞金(千円)	1着	出走回数	出走頭数	活躍馬(取得賞金順)
ゴールドアリュール	104,883	19	189	33	コパノリッキー
ダイワメジャー	39,228	20	226	37	ブルドッグボス
ハーツクライ	37,086	16	165	27	ストロングサウザー
カネヒキリ	29,788	14	87	15	ミツバ
サウスヴィグラス	29,270	45	191	36	ナムラタイタン
ステイゴールド	28,154	47	515	52	サンエイゴールド
Macho Uno	23,000	1	1	1	ダノンレジェンド
キングカメハメハ	21,532	33	187	28	ホッコータルマエ
ジャングルポケット	19,389	36	242	31	ブレイクビーツ
アドマイヤムーン	17,419	40	222	24	コウセン

■盛岡・芝(150レース)

ステイゴールド	18,421	13	90	25	サンエイゴールド
スニツヴェル	10,035	2	8	2	ロゾヴァドリナ
ジャングルポケット	10,006	6	39	11	ブレイクビーツ
アドマイヤムーン	9,645	11	57	18	コウセン
バトルプラン	8,789	3	17	7	ダズンフラワー
マツリダゴッホ	7,330	7	37	14	リュウノビナス

■水沢・総合(1415レース)

サウスヴィグラス	45,507	41	182	38	ペンテンコゾウ
カネヒキリ	24,469	13	88	17	スーパーステーション
ダイワメジャー	18,204	39	215	28	ダイワエクシード
エンパイアメーカー	17,259	22	113	21	エンパイアベガス
キンシャサノキセキ	16,156	27	162	22	ジュエルクイーン
アドマイヤムーン	15,013	37	267	25	リュウノムーン
キングヘイロー	13,766	18	199	21	キングジャガー
クロフネ	13,620	40	265	31	セカンドネイチャー

種牡馬名	1着	2着	出走回数	出走頭数	勝利頭数	活躍馬(勝利数順)
ステイゴールド	47	58	515	52	23	サンエイゴールド
サウスヴィグラス	45	24	191	36	22	ヴィグラスムーヴ
アドマイヤムーン	40	25	222	24	20	ムーンビューティ
ジャングルポケット	36	27	242	31	15	コスモジョイジョイ
ロージズインメイ	34	30	202	28	15	マイネルボン
キングカメハメハ	33	30	187	28	13	ココクイーン
クロフネ	33	27	238	30	16	フランクジョイ
シンボリクリスエス	27	27	289	34	16	ラフィナート
メイショウボーラー	26	26	180	26	12	ホープトウショウ
ゼンノロブロイ	25	31	238	38	13	トウショウノワール

ステイゴールド	13	14	90	25	3	サンエイゴールド
アドマイヤムーン	11	5	57	18	8	コウセン
ディーピンパクト	7	2	46	19	4	シーザーパローズ
マツリダゴッホ	7	1	37	14	2	コスモリウゲツ
ジャングルポケット	6	6	39	11	4	サンエイジャック
ダイワメジャー	5	8	48	17	4	タイセイマジック

ステイゴールド	42	41	458	47	25	マイネヴァイザー
サウスヴィグラス	41	26	182	38	19	ヴィグラスムーヴ
クロフネ	40	35	265	31	19	プライティアスワン
ダイワメジャー	39	17	215	28	17	スパンコール
アドマイヤムーン	37	41	267	25	15	マキシマイザー
ロージズインメイ	35	36	219	27	13	コスモタウルス
キンシャサノキセキ	27	30	162	22	12	トウショウジルバ
シンボリクリスエス	26	35	300	40	16	タイト

重賞勝ち馬の血統を読む

文●平出貴昭(サラブレッド血統センター)

赤松杯/シアンモア記念 ペンテンコゾウ

2014年5月6日生まれ 牡 鹿毛 岩手・菅原勲厩舎
生産・土田和男(日高郡新ひだか町)

サウスヴィグラス (USA) 栗毛 1996	エンドスウィープ(USA) 鹿毛 1991	フォーティナイナー(USA) Broom Dance
	ダークストスター(USA) 黒鹿毛 1989	Star de Naskra Minnie Riperton
スタートウショウ 鹿毛 2002	スカッターザゴールド(CAN) 黒鹿毛 1997	Mr. Prospector Dance Smartly
	ヌエボトウショウ 鹿毛 1987	トウショウゴッド プリティトウショウ

昨年、地元岩手からホッカイドウ競馬に
殴り込みをかけ、北斗盃と北海優駿の二冠
を制覇したペンテンコゾウ。冬シーズンは
南関東に移籍し、A2戦で2戦2勝の成績
を残して復帰した。復帰後、赤松杯を4馬
身差、シアンモア記念を6馬身差と圧巻の
重賞2連勝を果たし、既に重賞7勝。今年
の岩手のエースとして期待される存在だ。

血統を見てみよう。父サウスヴィグラス
は現役時代、2003年JBCスプリントなど
ダート1400m以下の重賞を8勝した快足
馬。種牡馬となつてからはラブミーチャン
(全日本2歳優駿)、コーリンバリー(JBC
スプリント)、ヒガシウィルウィン(ジャ
パンダートダービー)などを出して2012

年と2015～17年の3年連続を含む4回、
地方リーディングサイヤーに輝き、今年も
トップをひた走る圧倒的な存在だ。残念な
がら今年3月にこの世を去ったが、昨年、
地方競馬で挙げた411勝は2位ゴールドア
リュールの263勝を上回るダントツの数字
であり歴代でも最多記録。今年5月24
日現在、地方競馬で挙げた勝利数は実に
2946勝を数え、アジュディケーティング
の3491勝を超えるのは確実だろう。

母の父スカッターザゴールドは、クイーンズ
プレート、プリンスオブウェールズS
のカナダ二冠を制した馬で、母はカナダ年
度代表馬でありBCディスタフも制したダ
ンススマートリーという良血馬。種牡馬
としてエリモエクスパイア(天皇賞・春2
着)の他、サンキューウィン、シーズザゴ
ールドと2頭の羽田盃勝ち馬を出すなど、
地方競馬でも実績を残している。岩手でも
2009年のシアンモア記念など重賞3勝の
リュウノキングダムが活躍した。

ペンテンコゾウは母系の血も優秀だ。母
スタートウショウはJRAから岩手に移籍後、
伊藤和調教師の元で小林俊彦騎手、内田利
雄騎手を背に8勝を挙げた。祖母ヌエボト
ウショウは非凡な瞬発力を武器に、牡馬相
手の朝日チャレンジCなどJRA重賞5勝を



写真●岩手県競馬組合

シアンモア記念で重賞7勝目を挙げたペンテンコゾウ

挙げた名牝だ。牝系を遡ると4代母がトウ
ショウ牧場が導入したビバドンナで、その
子孫からはトウショウアンドレ(中日新聞
杯)、トウショウフェノマ(新潟3歳S)な
どのJRA重賞勝ち馬が出ている。“天馬”ト
ウショウボーイ他、トウショウゴッド(目
黒記念など重賞3勝)などトウショウ冠名
の種牡馬が並ぶ、オールドファンには嬉しい
血統の持ち主だ。

昨年から今年にかけて、サウスヴィグラ
スの父系祖父であるフォーティナイナー系
の活躍が目覚ましい。スウェプトオーヴァ
ーボード産駒レッドファルクスがスプリン
ターズSを連覇し、アドマイヤムーン産駒
のセイウンコウセイとファインニードルが
高松宮記念を連覇。トワイニング産駒ノン
コノユメはフェブラリーSを勝利した。亡
きサウスヴィグラスの血は今も生産界に求
められている。ペンテンコゾウも今後の活
躍次第では種牡馬入りし、期待を集めるこ
とだろう。今年はそんな未来を予感させる
ような走りをしてほしい。

DIRT GRADE DATA 作戦

第22回 スパーキング レディーカップ

JpnⅢ

7月5日(木)

3歳以上牝馬 川崎1600m
1着賞金2500万円
フルゲート14頭

17.7.6 川崎 1600m 晴・稍重	⑥⑦ アンジュデジール(JRA)	牝3	52	横山典弘	1.41.6	2人
	⑦⑩ ララベル(大井)	牝5	55	真島大輔	1 1/2	4
	④④ タイニーダンサー(JRA)	牝4	57	内田博幸	3	5
	単勝⑦440円 枠連複(6-7)1,870円 馬連複(7-10)2,000円 枠連単(6-7)3,460円 馬連単(7-10)3,650円 3連複(4-7-10)6,580円 3連単(7-10-4)26,480円					
16.7.6 川崎 1600m 晴・良	⑧⑩ ホワイトフーガ(JRA)	牝4	58	蛭名正義	1.40.5	1人
	⑦⑧ ブルーチップー(大井)	牝6	55	森 泰斗	2	4
	⑥⑥ タイニーダンサー(JRA)	牝3	54	内田博幸	6	3
	単勝⑩200円 枠連複(7-8)830円 馬連複(8-10)750円 枠連単(8-7)1,300円 馬連単(10-8)1,180円 3連複(6-8-10)550円 3連単(10-8-6)2,730円					
15.7.1 川崎 1600m 曇・重	②② トロワボヌール(JRA)	牝5	56	戸崎圭太	1.40.8	2人
	③③ サウンドガガ(JRA)	牝6	56	武 豊	1 1/2	3
	⑥⑦ サンビスタ(JRA)	牝6	58	岩田康誠	3	1
	単勝②500円 枠連複(2-3)860円 馬連複(2-3)830円 枠連単(2-3)1,560円 馬連単(2-3)1,740円 3連複(2-3-7)190円 3連単(2-3-7)2,870円					

●上位人気の古馬が優勢

過去5年の連対馬は1~4番人気に収まっている。比較的人気サイドの決着にはなっている。例年、ポイントとなるのは3歳馬と古馬の比較。3歳馬がここで初めて古馬と対戦するケースが多く、力関係が問われることになる。ここ2年は関東オークスで連対していたアンジュデジールとタイニーダンサーが1、3着と好走。一方、14年はエスメラルディーナが前走関東オークスで圧勝していたが、1番人気で7着に敗れた。古馬はホワイトフーガやトロワボヌール、メーディアといった地力がある馬が人気に応えている。地方勢も近2年で2着に好走しており、注目だ。

第20回 ジャパントート ダービー

JpnI

7月11日(水)

3歳 大井2000m
1着賞金4500万円
フルゲート16頭

17.7.12 大井 2000m 晴・良	③④ ヒガシウィルウィン(船橋)	牡3	56	本田正重	2.05.8	5人
	⑤⑥ サンライズソア(JRA)	牡3	56	川田将雅	クビ	4
	③③ タガノディゴ(JRA)	牡3	56	川島信二	1	2
	単勝④1,020円 枠連複(3-5)940円 馬連複(4-8)3,080円 枠連単(3-5)1,770円 馬連単(4-8)7,500円 3連複(3-4-8)3,050円 3連単(4-8-3)28,450円					
16.7.13 大井 2000m 曇・良	⑤⑦ キョウエイギア(JRA)	牡3	56	戸崎圭太	2.05.7	4人
	⑧⑩ ケイティブレイブ(JRA)	牡3	56	武 豊	4	3
	⑤⑥ ゴールドドリーム(JRA)	牡3	56	川田将雅	1 3/4	1
	単勝⑦1,420円 枠連複(5-8)540円 馬連複(7-13)2,420円 枠連単(5-8)1,050円 馬連単(7-13)6,510円 3連複(6-7-13)1,830円 3連単(7-13-6)22,780円					
15.7.8 大井 2000m 雨・不良	⑥⑨ ノンコノメ(JRA)	牡3	56	ルメール	2.05.6	2人
	⑤⑥ クロスクリーガー(JRA)	牡3	56	岩田康誠	2 1/2	1
	⑧⑫ ラッキープリンス(浦和)	牡3	56	今野忠成	5	6
	単勝⑨280円 枠連複(5-6)200円 馬連複(6-9)210円 枠連単(6-5)450円 馬連単(9-6)470円 3連複(6-9-12)1,730円 3連単(9-6-12)4,980円					

●東京ダービー優勝馬は十分戦える

昨年は5番人気のヒガシウィルウィン(船橋)が中央勢を撃破して優勝を果たした。古馬の中距離戦線では中央勢の層が厚すぎるが、この時期のレースはまだ地方馬も十分戦える。過去5年で、ラッキープリンス(浦和)やハッピーズプリント(大井)も好走。いずれも東京ダービー1着馬であり、狙い方としてはわかりやすい。一方、中央馬の狙い方は難しい。力関係に加え、地方馬場の適性など未知な面が多い。例年は兵庫チャンピオンシップや鳳雛ステークス、古馬混合の1000万クラスの勝ち馬、あるいはユニコーンステークス3着以内の馬などが有力候補になる。

第22回 マーキュリーカップ

JpnⅢ

7月16日(祝・月)

3歳以上 盛岡2000m
1着賞金2300万円
フルゲート14頭

写真●岩手県競馬組合

17.7.17 盛岡 2000m 曇・稍重	②② ミツバ(JRA)	牡5	54	松山弘平	2.02.1	1人
	③③ ビオネロ(JRA)	牡6	54	戸崎圭太	クビ	2
	④⑤ クリノスターオー(JRA)	牡7	56	幸 英明	1/2	3
	単勝②230円 枠連複(2-3)220円 馬連複(2-3)220円 馬連単(2-3)450円 3連複(2-3-5)340円 3連単(2-3-5)1,190円					
16.7.18 盛岡 2000m 曇・良	⑧⑩ ストロンクスウザー(JRA)	牡5	55	田邊裕信	2.02.4	2人
	①① タイムズアロー(船橋)	牡8	54	真島大輔	2	9
	⑥⑩ マイネルバイカ(JRA)	牡7	55	柴田大知	ハナ	5
	単勝⑩470円 枠連複(1-8)13,440円 馬連複(1-13)18,670円 馬連単(13-1)20,420円 3連複(1-10-13)23,090円 3連単(13-1-10)179,810円					
15.7.20 盛岡 2000m 曇・良	⑧⑭ ユーロビート(大井)	牡6	54	吉原寛人	2.07.8	6人
	⑤⑦ ソリタリーキング(JRA)	牡8	58	福永祐一	6	3
	⑦⑫ トウショウフューク(JRA)	牡8	54	戸崎圭太	1	5
	単勝⑭2,720円 枠連複(5-8)2,770円 馬連複(7-14)4,300円 馬連単(14-7)10,350円 3連複(7-12-14)9,850円 3連単(14-7-12)112,860円					
14.7.21 盛岡 2000m 晴・良	⑥⑨ ナイスミューチャー(JRA)	牡7	55	小牧 太	R 2.01.9	4人
	⑦⑪ クリソライト(JRA)	牡4	59	内田博幸	1/2	3
	④⑤ シビルウォー(JRA)	牡9	59	岩田康誠	2 1/2	6
	単勝⑨780円 枠連複(6-7)4,070円 馬連複(9-11)3,110円 馬連単(9-11)7,100円 3連複(5-9-11)8,380円 3連単(9-11-5)54,580円					
13.7.15 盛岡 2000m 曇・重	③③ ソリタリーキング(JRA)	牡6	57	福永祐一	2.03.1	4人
	⑥⑨ シビルウォー(JRA)	牡8	58	内田博幸	1 1/4	2
	②② グランドシチー(JRA)	牡6	55	津村明秀	ハナ	1
	単勝③680円 枠連複(3-6)1,370円 馬連複(3-9)1,270円 馬連単(3-9)2,960円 3連複(2-3-9)620円 3連単(3-9-2)8,880円					

●平安ステークスからの巻き返し

昨年は1番人気のミツバが勝利し、2着に2番人気のビオネロ、3着に3番人気のクリノスターオーが入る結果。人気通りの順当な決着だったが、例年とはそんなに簡単な傾向にはなっていない。過去5年の1番人気の成績は【1.0.1.3】となっており、苦戦傾向だ。

パターンとしては前走で勝っている馬や、帝王賞で好走している馬が人気になりやすい。ミツバ(前走ブリリアントステークス1着)のように人気に応えるケースもあるが、そうでない場合も多いので難しいと言える。好走馬の数で言えば、前走平安ステークス組の方が多いのが現状だ。基本的に中央馬になるが、同レースでの着順は関係なく、惨敗していてもあまり気にしない方がいい。他の中距離重賞組も警戒したい。

地方馬は16年にタイムズアロー(船橋)が9番人気で2着、15年にユーロビート(大井)が6番人気で勝利。ともに元中央馬でオープンクラスを経験、後者に至っては前走帝王賞で4着という成績。強敵相手に十分善戦しており、軽視されすぎていた印象だ。

第18回 サマーチャンピオン

JpnⅢ

8月14日(火)

3歳以上 佐賀1400m
1着賞金2100万円
フルゲート12頭

写真●佐賀県競馬組合

17.8.16 佐賀 1400m 曇・不良	⑦⑨ ラインシュナイダー(JRA)	牡5	54	武 豊	1.26.1	2人
	③③ タムロミラルク(JRA)	牡5	55	福永祐一	アタマ	3
	⑧⑩ ウインムート(JRA)	牡4	55	D.ホワイト	1 1/2	1
	単勝⑨300円 枠連複(3-7)520円 馬連複(3-9)560円 馬連単(9-3)980円 3連複(3-9-10)440円 3連単(9-3-10)2,540円					
16.8.18 佐賀 1400m 晴・良	④④ グレイスフルリブ(JRA)	牡6	57	小牧 太	1.25.7	1人
	⑤⑥ ワンダーコアラール(JRA)	牡7	55	幸 英明	4	3
	⑥⑦ タガノトネル(JRA)	牡6	57.5	川田将雅	3/4	2
	単勝④180円 枠連複(4-5)400円 馬連複(4-6)470円 馬連単(4-6)610円 3連複(4-6-7)230円 3連単(4-6-7)1,140円					
15.8.18 佐賀 1400m 晴・重	⑥⑧ タガノトネル(JRA)	牡5	56	川田将雅	1.26.2	1人
	⑦⑩ タガノジンガロ(兵庫)	牡8	56	山口 勲	2 1/2	5
	⑤⑤ レーザーパレット(JRA)	牡7	56.5	横山典弘	1/2	3
	単勝⑥190円 枠連複(6-7)1,110円 馬連複(8-10)1,120円 馬連単(8-10)1,610円 3連複(5-8-10)920円 3連単(8-10-5)4,520円					
14.8.19 佐賀 1400m 雨・不良	④④ エーシンビートルン(JRA)	牡8	56	武幸四郎	1.26.1	2人
	②② ピッチシフター(名古屋)	牡4	52	大畑雅章	5	5
	⑧⑩ タガノジンガロ(兵庫)	牡7	56	木村 健	ハナ	4
	単勝④220円 枠連複(2-4)4,940円 馬連複(2-4)5,210円 馬連単(4-2)7,300円 3連複(2-4-10)4,640円 3連単(4-2-10)35,600円					
13.8.13 佐賀 1400m 曇・良	⑦⑨ エーシンウェズン(JRA)	牡6	56	川田将雅	1.27.0	3人
	⑦⑩ ガンジス(JRA)	牡4	57	蛭名正義	1	1
	③③ コスモワッチミー(高知)	牡5	52	赤岡修次	3	6
	単勝⑨640円 枠連複(7-7)250円 馬連複(9-10)250円 馬連単(9-10)950円 3連複(3-9-10)9,010円 3連単(9-10-3)39,200円					

●好ステップはプロキオンステークス

7月に行われているプロキオンステークスとの関連性が高い一戦。同レースの出走馬が多く、馬券になりやすい傾向にある。過去5年では13年の優勝馬エーシンウェズンや、15年優勝のタガノトネルらが該当。プロキオンステークスでの着順はあまり気にしないことがポイントだ。また、その間の勝ち馬は、ここで重賞初制覇を飾っている。実績馬が不利というレースではないが、たまたまそうになっている。14年のエーシンビートルンは8歳にして初タイトルとなった。

近2年は前走中央のオープン特別で5着に入っていた馬が優勝。上がり馬よりもこのクラスをある程度経験している馬の方がいいかもしれない。

地方馬にも十分チャンスはある。15年と14年にタガノジンガロ(兵庫)が好走。14年はピッチシフター(名古屋)が2着、13年はコスモワッチミー(高知)が6番人気で3着と好走した。コスモワッチミーは条件を満たしていないが、地元でいいので、前走勝っていることが重要。ダートグレードでの好走実績よりも、夏場らしく勢いを重視したい。

**第23回
クラスターカップ
JpnⅢ**
8月15日(水)
3歳以上 盛岡 1200m
1着賞金 2300万円
フルゲート 14頭



写真●岩手県競馬組合

17.8.15 盛岡 1200m 小雨・稍重	①① ブルドッグボス(浦和) 牡5 54 左海誠二 R 1.08.8 4人 ③③ ラブバレット(岩手) 牡6 54 山本聡哉 クビ 3 ⑥⑥ サイタスリーレッド(JRA) 牡4 54 高倉 稜 2 1
16.8.16 盛岡 1200m 曇・稍重	④⑤ ダノンレジェンド(JRA) 牡6 60 M.デムーロ 1.09.1 2人 ①① ブルドッグボス(浦和) 牡4 54 C.ルメール 2 1 ③③ ラブバレット(岩手) 牡5 54 山本聡哉 4 5
15.8.12 盛岡 1200m 曇・良	⑥⑥ ダノンレジェンド(JRA) 牡5 56 M.デムーロ 1.11.1 1人 ③④ ポアゾンブラック(北海道) 牡6 54 阪野 学 6 3 ③③ ラブバレット(岩手) 牡4 54 南郷家全 4 6
14.8.13 盛岡 1200m 曇・稍重	⑥⑥ サマリーズ(JRA) 牝4 52 藤岡佑介 1.09.7 4人 ③③ スイートジュエリー(JRA) 牝5 52 戸崎圭太 クビ 2 ③③ シルクフォーチュン(JRA) 牡8 56 藤岡康太 1 3/4 3
13.8.14 盛岡 1200m 晴・良	④⑤ ラブミーチャン(笠松) 牝6 55 戸崎圭太 1.09.5 1人 ④⑤ タイセイレジェンド(JRA) 牡6 59 内田博幸 3/4 5 ⑥⑥ ノーザンリバー(JRA) 牡5 55 武 豊 アタマ 4

●リピーターが多く、東京盃とも関連

現在、地元岩手のラブバレットが3年連続で好走している。中央馬に混ざりながらも一定程度人気には推されていたが、毎年人気よりも上の着順に入線している点は立派だ。盛岡コースを走り慣れている、実績があるという意味では地元馬に限らず注目すべき存在となる。

ダノンレジェンドは15年と16年で勝利し、連覇を達成。特に16年は斤量60キロを背負っての勝利だった。さすがに60キロまでくると過酷な負担斤量になるし、苦しい競馬になっても不思議はない。実績馬とはいえ、素直に評価はしにくい。

また、ブルドッグボスも目下、2年連続で好走している。昨年は浦和へ所属を移しての勝利だった。同馬はこの年、秋の東京盃で2着と好走。特に同レースに向けてのステップというわけではないが、大井の東京盃と関連がある傾向を感じさせる。近年はダノンレジェンドやラブミーチャン(笠松)、タイセイレジェンド。以前ではバンブーエールやアグネスジェダイなどが該当。クラスターカップと東京盃両方で好走を果たす馬が目立つ。

**第30回
ブリーダーズ
ゴールドカップ
JpnⅢ**
8月16日(木)
3歳以上牝馬 門別 2000m
1着賞金 3100万円
フルゲート 16頭



写真●写真のトライ

17.8.17 門別 2000m 曇・重	③③ マイティティ(JRA) 牝5 55 池添謙一 2.08.4 6人 ⑤⑤ クイーンマンボ(JRA) 牝3 55 C.ルメール 3/4 1 ①① オーチャイト(JRA) 牝4 55 福永祐一 6 4
16.8.11 門別 2000m 晴・良	⑧⑩ アムールブリエ(JRA) 牝5 57 濱中 俊 2.08.7 1人 ⑤⑤ タイニーダンサー(JRA) 牝3 55 桑村真明 7 3 ④④ ビービーパール(JRA) 牝3 54 武 豊 1 1/2 2
15.8.13 門別 2000m 曇・良	④⑦ アムールブリエ(JRA) 牝4 57 濱中 俊 2.08.1 4人 ⑥⑥ サンピスタ(JRA) 牝6 58 岩田康誠 アタマ 1 ⑤⑤ ホワイトフーガ(JRA) 牝3 55 大野拓弥 5 2
14.8.14 門別 2000m 晴・良	③③ サンピスタ(JRA) 牝5 55 岩田康誠 2.07.4 2人 ③③ ワイルドフラッパー(JRA) 牝5 57 福永祐一 3 1 ⑦⑦ マーチャンティマー(JRA) 牝5 55 川田将雅 クビ 4
13.8.15 門別 2000m 曇・良	②② ハタノヴァンクール(JRA) 牡4 58 四位洋文 2.04.9 2人 ⑧⑧ シビルウォー(JRA) 牡8 57 内田博幸 2 1/2 1 ⑤⑤ ランフォルセ(JRA) 牡7 57 戸崎圭太 3 4

●中央馬の争いだが、簡単ではない

現在の牝馬限定戦となったのが14年からのので、過去4年分のデータでの分析となる。ここまでの好走馬12頭はすべて中央馬だ。実力の比較はそれほど難しくはないはずだが、そう簡単には決まらない傾向にある。

1番人気で勝利したのは16年のアムールブリエのみ。15年に続く勝利だったが、その時は4番人気で、実績断然のサンピスタを下した。昨年は6番人気のマイティティが、1番人気のクイーンマンボを下して優勝。展開のアカサそれとも経験の差か、いずれにしても実力通りの結果ではなかった。

出走馬の実績は、年によって差があるケースもある。基本的にはダートグレードで実績がある馬が強いのは間違いない。ただ、実際には中央の条件クラスで好走している馬であれば、通用する可能性があるともみておいたほうがいい。昨年3着のオーチャイトは前走1000万クラスの特別戦で3着に敗れていた。近走の成績もあまり関係がない。前走大敗から巻き返すケースもある。門別競馬場の砂が合うかどうかが重要なかもしれない。

**第29回
テレ玉杯
オーバルスプリント
JpnⅢ**
9月24日(振・月)
3歳以上 浦和 1400m
1着賞金 2100万円
フルゲート 12頭

17.9.20 浦和 1400m 曇・稍重	⑥⑦ サイタスリーレッド(JRA) 牡4 54 戸崎圭太 1.25.1 2人 ③③ レーザーバレット(JRA) 牡9 56 岩田康誠 2 5 ⑤⑤ ブルドッグボス(浦和) 牡5 55 左海誠二 1 1/2 3
16.9.15 浦和 1400m 曇・重	⑤⑤ レーザーバレット(JRA) 牡8 55 戸崎圭太 1.25.8 5人 ⑦⑩ ソルテ(大井) 牡6 57 吉原寛人 1/2 1 ③③ レガルスイ(船橋) 牡5 54 石崎 駿 2 7
15.9.23 浦和 1400m 晴・良	⑤⑥ レーザーバレット(JRA) 牡7 54 戸崎圭太 1.26.3 2人 ②② ルペーザドランジェ(JRA) 牝5 52 岩田康誠 1 1/2 5 ③③ タガノトネル(JRA) 牡5 55 川田将雅 3/4 1

●1番人気馬が勝ち切れない傾向

過去5年の1番人気馬の成績は【0.2.1.2】でやや苦戦傾向。前走サマーチャンピオンやクラスターカップ組が有力ではあるが、勝利している必要はなく、善戦していた馬が勝ちやすい傾向。勝っていた馬が人気よりも着順を落としたりした。さきたま杯や、中央のレースならば夏のオープン特別でも構わない。地方では川崎のスパークサマーカップ組に注目。前走5着以内の馬が、有力候補となる。また、負担重量はなるべく手頃であることが望ましい。具体的には54キロから55キロ。また、小回りのコースでも、差し馬は特に割り引く必要はない。

LOTO 高額配当ランキング
(2018年3月1日～2018年5月31日)
Odds Park

[五重勝単勝式]

第1位	1,986,460円(1口)	5/9 笠松
第2位	1,923,460円(3口)	5/30 園田
第3位	1,776,320円(1口)	5/27 佐賀
第4位	1,622,390円(1口)	3/13 園田
第5位	875,620円(7口)	4/12 園田
第6位	825,230円(1口)	4/1 水沢
第7位	521,010円(2口)	3/21 園田

[七重勝単勝式]

第1位	2,655,690円(2口)	3/18 帯広
第2位	199,800円(3口)	4/29 帯広

読者プレゼント



①高松亮騎手直筆
サイン色紙…2名様
提供：高松亮騎手



②オッズパークオリジナル
マキバオーボールペン
…20名様
提供：オッズ・パーク株式会社

ご希望の方は官製はがきに、①ご希望のプレゼント名、②住所・氏名、③年齢、④本誌に対するご意見・感想、⑤Odds Parkを利用してお感想、⑥Odds Parkへのご意見・要望を明記の上、下記まで。締切は7月20日(金)の消印有効。当選者の発表は景品の発送をもって代えさせていただきます。なお、個人情報については景品の発送以外の目的では使用いたしません。
〒901-0298 沖縄県豊見城市豊崎 オッズパークサポートセンター OPCプレゼント係

開催日程

☆☆ ナイター開催時の投票開始時間 ☆☆☆
 兵庫(園田)、高知 …………… ナイター開催当日10:00 ~
 ばんえい帯広、ホッカイドウ、南関東 … ナイター開催当日12:00 ~

DG ダートグレード開催日 (重賞) 重賞開催日
 ☆: 薄暮取扱 ☆: ナイター取扱

7月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	
	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	
ばんえい 帯 広	★ 重賞	★					★	★	★					★	★ 重賞	★					★	★	★					★	★ 重賞	★		ばんえい
ホッカイドウ 門 別				★ 重賞						★	★	★					★	★ 重賞	★ 重賞					★	★	★ 重賞					★ 重賞	ホッカ イドウ
岩 手 盛岡／水沢	水沢 ☆ 重賞	水沢 ☆					盛岡 ☆	盛岡 ☆ 重賞	盛岡 ☆					盛岡 ☆	盛岡 ☆ 重賞	盛岡 ☆ DG					盛岡 ☆	盛岡 ☆ 重賞	盛岡 ☆				盛岡 ☆	盛岡 ☆ 重賞	盛岡 ☆		岩手	
金 沢	☆ 重賞		☆					☆		☆					☆		☆					☆		☆ 重賞				☆		☆		金沢
笠 松												重賞																				笠松
名 古 屋																重賞																名古屋
兵 庫 園田／姫路				園田	園田	園田					園田	園田	園田					園田	園田	園田					園田	園田	園田					兵庫
高 知	★ 重賞						★	★							★	★					★	★						★	★			高知
佐 賀							☆ 重賞							☆		☆					☆	☆ 重賞						☆			☆	佐賀
南関DG				川崎★ DG							大井★ DG																					南関東

8月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31		
ばんえい 帯 広				★	★	★					★	★ 重賞	★					★	★	★					★	★ 重賞	★						ばんえい
ホッカイドウ 門 別	★	★					★	★	★				★ 重賞	★	★ DG 重賞						★	★	★					★	★	★ 重賞		ホッカ イドウ	
岩 手 盛岡／水沢				盛岡 ☆ 重賞	盛岡 ☆ 重賞	盛岡 ☆						盛岡 ☆ 重賞	盛岡 ☆	盛岡 ☆ DG				水沢	水沢	水沢					水沢 ☆ 重賞	水沢 ☆ 重賞	水沢 ☆					岩手	
金 沢				☆			☆		☆ 重賞					☆ 重賞					☆		☆ 重賞					☆		☆					金沢
笠 松															重賞																		笠松
名 古 屋																																	名古屋
兵 庫 園田／姫路	園田	園田	園田					園田	園田	園田						園田	園田	園田 ★ 重賞					園田	園田	園田				園田	園田	園田		兵庫
高 知				★	★													★	★ 重賞							★	★						高知
佐 賀				☆	☆						☆	☆		☆ DG				☆								☆	☆				☆		佐賀
南関DG																																	南関東

9月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
ばんえい 帯広	★	★	★					★	★	★					★	★ 重賞	★					★	★ 重賞	★					★	★	ばんえい
ホッカイドウ 門別				★	★	★					★	★ 重賞	★ 重賞					★	★	★ 重賞					★	★	★ 重賞				ホッカ イドウ
岩手 盛岡/水沢	水沢 ★	水沢 ★	水沢 ★					水沢 ★	水沢 ★	水沢 ★					盛岡 ★	盛岡 ★	盛岡 ★					盛岡 ★	盛岡 ★	盛岡 ★				盛岡 ★	盛岡 ★		岩手
金 沢		★ 重賞		★				★		★		★ 重賞				★		★					★		★					★	金沢
笠 松																				★ 重賞											笠松
名 古 屋											★ 重賞															★ 重賞					名古屋
兵 庫 園田/姫路					園田	園田	園田					園田	園田	園田					園田	園田	園田					園田	園田	園田	★ 重賞		兵庫
高 知	★	★						★	★							★	★ 重賞							★	★				★	★	高知
佐 賀	★								★		★ 重賞					★	★						★	★				★	★ 重賞		佐賀
南関DG																								浦和 DG							南関東

※日程は変更となる場合がございますのでご注意ください。
 ※南関東地区で行われるダートグレード競走については、市中銀行会員のみ投票できます。
 ※ホッカイドウ競馬については、市中銀行会員・ジャパンネット銀行会員のみ投票できます。

重賞&ダートグレード日程(2018年7月~9月)

7月	競馬場	実施日	競走名	競走条件	距離	備考
	帯広	1(日)	第12回 柏林賞	重賞 4歳	200	
	水沢	1(日)	第30回 栗駒賞	重賞 3歳以上	1400	
	金沢	1(日)	第1回 日本海スプリント	重賞 3歳以上	900	北陸・東海地区交流
	高知	1(日)	第15回 トレノ賞	重賞 3歳以上	1,300	
	門別	5(木)	第4回 グランシャリオ門別スプリント	重賞 3歳以上	1,000	
	川崎	5(木)	第22回 スパーキングレディーカップJpnⅢ	DG 3歳以上牝馬	1,600	中央・地方全国交流
	盛岡	8(日)	第19回 オパールカップ	重賞 3歳	芝1,700	地方全国交流
	佐賀	8(日)	第1回 佐賀王冠賞	重賞 3歳以上	2,000	
	大井	11(水)	第20回 ジャパンダートダービー JpnI	DG 3歳	2,000	中央・地方全国交流
	笠松	12(木)	第41回 サマーカップ	重賞 3歳以上	1,400	北陸・東海・近畿地区交流
	帯広	15(日)	第26回 北斗賞	重賞 3歳以上	200	
	盛岡	15(日)	第50回 岩鷲賞	重賞 3歳以上	1,200	
	盛岡	16(祝・月)	第22回 マーキュリーカップ(メイセイオペラ記念) JpnⅢ	DG 3歳以上	2,000	中央・地方全国交流
	名古屋	16(祝・月)	第22回 名港盃	重賞 3歳以上	1,900	北陸・東海・近畿地区交流
	門別	18(水)	第17回 ノースクイーンカップ	重賞 3歳以上牝馬	1,800	地方全国交流
	門別	19(木)	第15回 星雲賞	重賞 3歳以上	1,600	地方全国交流
	盛岡	22(日)	第6回 ハヤテスプリント	重賞 3歳	1,200	地方全国交流
	佐賀	22(日)	第20回 吉野ヶ里記念	重賞 3歳以上	1,400	
	金沢	24(火)	第16回 金沢スプリントカップ	重賞 3歳以上	1,400	北陸・東海・近畿地区交流
	門別	26(木)	第39回 王冠賞	重賞 3歳	1,800	地方全国交流
	園田	27(金)	第11回 兵庫サマークイーン賞	重賞 3歳以上牝馬	1,700	地方全国交流
	帯広	29(日)	第43回 ばんえい大賞典	重賞 3歳	200	
	盛岡	29(日)	第40回 せきせい賞	重賞 3歳以上	芝2,400	地方全国交流
	門別	31(火)	第12回 プリーダースゴールドジュニアカップ	重賞 2歳	1,700	
8月	盛岡	5(日)	第32回 ひまわり賞(オークス)	重賞 3歳牝馬	2,000	
	金沢	9(木)	第62回 MRO金賞	重賞 3歳	1,900	北陸・東海・近畿地区交流
	帯広	12(日)	第30回 ばんえいグランプリ	重賞 3歳以上	200	ファン投票
	盛岡	12(日)	第19回 若鮎賞	重賞 2歳	芝1,600	
	門別	14(火)	第18回 エトワール賞	重賞 3歳以上	1,200	地方全国交流
	金沢	14(火)	第36回 読売レディス杯	重賞 3歳以上牝馬	1,500	地方全国交流
	佐賀	14(火)	第18回 サマーチャンピオンJpnⅢ	DG 3歳以上	1,400	中央・地方全国交流
	盛岡	15(水)	第23回 クラスタカップJpnⅢ	DG 3歳以上	1,200	中央・地方全国交流
	門別	16(木)	第30回 プリーダースゴールドカップJpnⅢ	DG 3歳以上牝馬	2,000	中央・地方全国交流
	門別	16(木)	第5回 フルールカップ	重賞 2歳牝馬	1,000	地方全国交流
	笠松	16(木)	第47回 くらゆり賞	重賞 3歳以上	1,600	北陸・東海・近畿地区交流
	園田	17(金)	第50回 摂津盃	重賞 3歳以上	1,700	
	高知	19(日)	第41回 建依別賞	重賞 3歳以上	1,400	
	金沢	21(火)	第5回 加賀友禅賞	重賞 3歳牝馬	1,300	
	帯広	26(日)	第30回 はまなす賞	重賞 3歳・4歳	200	
	水沢	26(日)	第44回 ビューチフルドリーマーカップ	重賞 3歳以上牝馬	1,900	地方全国交流
	門別	30(木)	第15回 リリーカップ	重賞 2歳牝馬	1,200	地方全国交流
9月	水沢	2(日)	第36回 ビギナーズカップ	重賞 2歳	1,400	
	金沢	2(日)	第53回 サラブレッド大賞典	重賞 3歳	2,000	
	園田	7(金)	第15回 園田チャレンジカップ	重賞 3歳以上	1,400	北陸・東海・近畿地区交流
	水沢	9(日)	第26回 青藍賞	重賞 3歳以上	1,600	
	金沢	11(火)	第14回 イヌワシ賞	重賞 3歳以上	2,000	地方全国交流
	名古屋	11(火)	第12回 秋桜賞	重賞 3歳以上牝馬	1,400	地方全国交流
	佐賀	11(火)	第22回 霧島賞	重賞 3歳以上九州産馬	1,400	中央1000万下・地方全国交流
	門別	12(水)	第4回 旭岳賞	重賞 3歳以上	2,000	地方全国交流
	門別	13(木)	第18回 イノセントカップ	重賞 2歳	1,200	地方全国交流
	園田	13(木)	第1回 園田オートマトロフィー	重賞 3歳	1,700	
	帯広	16(日)	第54回 岩見沢記念	重賞 3歳以上	200	
	盛岡	16(日)	第20回 ジュニアグランプリ	重賞 2歳	芝1,600	地方全国交流
	高知	17(祝・月)	第30回 珊瑚冠賞	重賞 3歳以上	1,900	
	門別	20(木)	第18回 フローラルカップ	重賞 2歳牝馬	1,600	地方全国交流
	笠松	20(木)	第45回 オータムカップ	重賞 3歳以上	1,900	北陸・東海・近畿地区交流
	園田	20(木)	第20回 園田プリンセスカップ	重賞 2歳牝馬	1,400	地方全国交流
	帯広	23(祝・日)	第26回 銀河賞	重賞 4歳	200	
	盛岡	23(祝・日)	第20回 岩手県知事杯OROカップ	重賞 3歳以上	芝1,700	地方全国交流
	浦和	24(振・月)	第29回 テレ玉杯オーバルスプリントJpnⅢ	DG 3歳以上	1,400	中央・地方全国交流
	名古屋	26(水)	第29回 秋の鞍	重賞 3歳	1,800	地方全国交流
	門別	27(木)	第13回 道営スプリント	重賞 3歳以上	1,200	地方全国交流
	園田	28(金)	第58回 姫山菊花賞	重賞 3歳以上	1,700	南関東・北陸・東海・近畿地区交流
	佐賀	30(日)	第15回 ロータスクラウン賞	重賞 3歳	2,000	四国・九州地区交流

※開催内容が変更となる場合がございますのでご注意ください。

Odds Park Club vol.50 2018年7月1日発行 発行: オッズ・パーク株式会社 制作: 有限会社サイト 表紙写真(盛岡競馬場): 横川典視

夏の盛岡 2大頂上決戦!

昨年度優勝馬：ミツバ
騎手：松山弘平

**キャンペーン
開催決定!**

詳細は
オッズパークサイトで
7月上旬より
順次発表します。

昨年度優勝馬
ブルドッグボス

騎手：左海誠二

2018年
7/16
(祝月)

マーキュリーカップ
JpnⅢ
3歳以上 2,000m

2018年
8/15
(水)

クラスターカップ
JpnⅢ
3歳以上 1,200m

●オッズパークで投票できる勝馬投票券

すべてのレースに投票できます(ホッカイドウ競馬については、市中銀行会員・ジャパンネット銀行会員のみ投票できます)

競馬場	場番号	最大出走頭数	単勝(単)	複勝(複)	連勝複式		連勝単式	三連勝		重勝式	投票方式				レース実況
					枠番 複勝	馬番 複勝		枠番 三連勝	馬番 三連勝		インターネット投票	オッズパーク投票	クラシック投票	携帯スマートフォン投票	
ばんえい帯広	03	10	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	0180-991-073(帯広市)
ホッカイドウ門別	06	16	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	0180-991-234(札幌市)
盛岡	11	15	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	0180-991-335(盛岡開催)(盛岡市)
水沢	12	12	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	0180-991-336(水沢開催)(奥州市)
金沢	41	12	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	0180-997-553(金沢市) 076-257-7711
笠松	42	10	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	0180-995-001(笠松町)
名古屋	43	12	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	0180-995-711(名古屋市)
園田	51	12	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	0180-996-200(園田開催)(尼崎市)
姫路	52	12	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	0180-997-200(姫路開催)(姫路市)
高知	55	12	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	0180-998-991(高知市)
佐賀	61	12	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	0180-999-211(鳥栖市)

※販売賭式は変更になる場合がございます。 ※重勝式は、インターネット投票(クラシック投票は除く)のみ投票できます。

ダートグレード競走のみ投票することができます(市中銀行会員のみ投票できます)

浦和	31	12	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	0180-993-400 (東京03エリア)
船橋	32	14	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
大井	33	16	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
川崎	34	14	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	

オッズパーク
サポートセンター

電話 0570-006889 (ナビダイヤル) / 03-6274-1698 FAX 098-851-0988
受付時間 10:00~21:00(ナイター非開催日は17:30まで) ※施設点検日およびメンテナンス日は休業

インターネット投票

パソコン
<http://www.oddspark.com/>
携帯
<http://m.oddspark.com/>
スマートフォン
<https://sp.oddspark.com/>

電話投票

0570-011100(ナビダイヤル)
03-6833-0111

※投票はどちらの投票用電話番号でもご利用になれます。

レース結果案内(全主催者共通)

0570-011555(ナビダイヤル)
03-6748-0100
03-6748-0101

※番号をよくご確認ください。お間違えのないようお願いいたします。

※「0180」「0570」で始まる電話番号は、一部の携帯電話・PHSからご利用になれません。また、NTT以外の電話会社と契約されている場合はご利用いただけません。

※「0180」で始まる電話番号は
(固定電話) 音源所在地までの一般ダイヤル通話料
(携帯電話) 全国一律14秒10円(3分130円)
がかかりますのでご注意ください。
※ナビダイヤル(「0570」で始まる電話番号)の通常
電話からの通話料金は、全国一律で一般電話からは
1分10円、携帯電話からは20秒10円です。